

無人島サバイバル生活体験(3年生)

7月30日(火)~8月1日(木)2泊3日

無から有を生み出す喜びを体験

お互いの個性を認め助け合う力の再確認



宇土未来探究講座 体験活動 集大成 天草市御所浦町黒島

宇土未来探究講座(体験活動)3年間の集大成として、御所浦黒島(無人島)でサバイバル生活体験(3年生)を実施しました。気温30℃を超える暑さの中、テントサイトの整備・テント設営、火おこし、かまど作り、塩・真水・燻製作り、魚釣り、キャンプファイヤーなどの学習プログラムを生徒達は主体的に取り組みました。生徒は3日間で大きく成長しました。魚など、他の生き物の命によって人間が活かされていること、現在の便利で快適な暮らしに対する感謝の気持ち、仲間の絆の尊さなど、現在人が見失いかけている大切な事柄を自らの体験を通して学び取ってくれました。また、高校生ボランティア、外部スタッフの方々の献身的なサポートによって充実した体験活動ができました。



【黒島(無人島)】
今回で9回目 来年は
記念すべき10回目

中
宇土中新聞
題字 松本さん(宇土小出身 書道部三年)



QRコードより
宇土中・宇土高の
ブログは日々更新
中。詳しくは上の

- 3日間の主な学習プログラム
- ・ 出発式
- ・ 入島式
- ・ テント設営
- ・ 調理場設営
- ・ 火おこし
- ・ 食材収集
- ・ 食材加工
- ・ 塩作り
- ・ 真水作り
- ・ 燻製作り
- ・ キャンプファイヤー
- ・ 清掃活動
- ・ ふれあい会
- ・ BBQ
- ・ 離島式
- ・ 解散式



【テント設営】



【調理場設営】



【火おこし】



【魚釣り】



【調理・魚さばき】



【キャンプファイヤー】



【BBQ・ふれあい会】



【高校生ボランティア】

解散式 全体感想発表



【魚を釣り上げた新宅さん】

新宅結衣さん
(松橋小)

私が今回の無人島サバイバル生活体験で学んだことは主に2つあります。

1つ目は、水や電気の大切さです。いつも当たり前のように使っている扇風機や冷蔵庫がない生活はとても大変でしたが、日常生活へのありがたさを感じることができました。また、普段使っている物がない分、色々な工夫ができたこともよい経験になりました。

2つ目は、家族の大切さです。いつもなら母が食事を作ってくれますが、無人島では自分たちで作らなければいけませんでした。あらためて家族に対する感謝の気持ちを持つようになりました。

今回の活動で、自分たちの日常生活が周りの人たちの支えによって成り立っていることに気づくことができました。この経験を今後も生かしていきたいです。

8月2日(金)～6日(火) グローバルジュニアドリーム事業(台湾高雄市)に参加して



3年 緒方 陸斗君(豊川小)

今回の研修で私はたくさんの事を学びました。その中でも特に心に残ったことを紹介します。

それは、「音楽」と「数学」の偉大さです。ホームステイに行った際、言葉もうまく通じず、どう話しているのかわかりませんでした。私のホストファミリーは中学一年生の男子のいる家族で、その子の友達も遊びに来ていました。子供たちは二人とも数学が大好きという事だったので、三平方の定理を応用した簡単なクイズを出題してみました。すると、二人はとても興味を持ってくれて、少し考えた後に「解き方を教えてほしい」と言われました。うまく説明できず不安だったのですが、式を書いていくにつれ、二人とも理解してくれて、盛り上がったので私も嬉しかったです。

また、夕食後にパパがギターを弾いてくれて、一緒に歌いました。歌いながら、音楽を愛する心は国境を越えても変わらないんだと思いました。音楽と数学、国や言葉が違ってこれらには人と人をつなぐ力があることに感動しました。たくさんの良い出会いや学びがあったので、今回の研修に参加して本当によかったです。



3年 岡 侑里さん(宮原小)

私は、このグローバルジュニアドリーム事業に参加し沢山の事を学びました。

まず、ホームステイでは慣れない英語で通じない事も沢山ありましたが、ホストファミリーの方達が一生懸命に聞いて下さり、英語を使って話すことが出来たのでいい経験になりました。

初日の夜は、瑞豊夜市に連れて行ってもらい台湾の色々な食べ物を食べることが出来ました。私が一番美味しいと思ったのは「麻辣鴨血」という鴨の血を固めた物です。思っていたより美味しくて、びっくりしました。

次の日は、台湾の高校生7人と「駁二芸術特区」(かばくにげいじゅつとく)という所に行きました。ここはインスタ映えスポットとして女子高生に人気の所で、みんなでたくさん写真を撮りました。地元の人とたくさん触れ合えて文化を知ることができ、とても楽しかったです。

四日目の高雄市の小・中・高等学校との交流会では、日本のけん玉や熊本の方言などを教えたり、台湾の伝統的な食べ物を作ったり衣装も着て台湾について学びました。台湾の子供達は自分と同じくらいの年齢なのに、英語でスラスラと話していたことにとっても驚き、私ももっと勉強して話せるようになりたいと思いました。このような経験をさせてもらったことに感謝し、今まで以上に英語の勉強を頑張ります。

アーチェリー競技少年女子国体代表選手紹介



3年 平居智風さん (熊本市立花園小)

私は、小学校4年生の時に、弓を使ったスポーツをしたいと思い、アーチェリーを始めました。最初の頃はただ的に当たるだけで楽しかったけど、地元の大大会や色々な大会で同学年位の友達も増えて、大会で勝ったり負けたりすることで、段々アーチェリーという競技の難しさを感じるようになりました。

始めてから6年が経ち、合宿に行ったり、全国大会にも参加するようになりました。アーチェリーは自分の射ち方や天候の影響も受けるので、なかなか点数が上がらず、まだ悩むことも多いですが、70m離れたところから、中央部分の黄色に自分の射った矢が吸い込まれるように刺さるのを見ると、「よし!」と心の中でガッツポーズをしてしまいます。

今度、国体で少年女子の部に選ばれ、九州ブロック大会に出場します。他の高校生の皆さんに負けにくいくらい頑張っていきたいです。

全国高校学校総合文化祭(自然科学部門)に参加して

昨年10月に行われました熊本県生徒理科研究発表会で科学部が物理部門で最優秀賞を受賞し、7月27日～29日に行われました全国高等学校総合文化祭自然科学部門に県代表として出場してきました。中学校からも村上君(3年)と小原君(2年)が参加しましたので、感想を紹介します。



3年 村上 遼多君(花園小)

この大会は日本全国から選ばれた高校生達が集まって自分たちの研究を発表しあうものでした。当然中学生の私にはとても難しい内容の発表もありました。また審査員の厳しい質問などもあり全国の舞台の雰囲気を感じることができました。その中で先輩方は懸命に発表され、審査員の質問にも答えていらっやいました。発表後、先輩は悔やむ顔をされましたが他の学校に引けを取らない発表でした。改めて宇土高校の先輩の凄さを感じました。自分も先輩方のような人間力の高い人になっていきたいです。

2年 小原 優太君(宇土小)

研究発表の際、発表する方と質問する方の白熱した意見交換はとても刺激的で深く印象に残っています。特に、大学の先生から飛ぶ鋭い本質をつく質問には研究の難しさ、この大会の厳しさを感じ取りました。また、ポスターの部門では、直接研究についての説明を受け、それに対して質問もしました。この短い距離感でのコミュニケーションで、より深く理解することができました。個々独自の研究方法、ユーモアのあるおもしろい研究などを通して、研究の楽しさ、おもしろさを感じることができました。この機会に、私は科学やその研究について興味を持ちました。また、自分の研究を進めていき、先輩方のような素晴らしい研究に仕上げたいと思いました。

宇土中学校第1回学校説明会

7月20日(土)の宇土中学校第1回説明会にたくさんの児童、保護者の皆様が生徒発表や学習体験、施設見学等に参加して下さいました。大変ありがとうございました。学習体験とアンケート(感想・質問)の一部を紹介します。

★学習体験

「燃焼に関する実験」「身のまわりの数学」「火おこし体験」「英語の音を楽しもう」

★アンケート(感想・質問)

- ・生徒さん達の挨拶に感動しました。
- ・中学生の発表がとても心に残りました。
- ・校内見学を案内してくださった学生の方、とてもわかりやすい説明と上手な引率でたいへん驚きました。



【学校概要説明】



【生徒発表】



【燃焼に関する実験】

第2回学校説明会(最終回)

令和元年10月5日(土) 午前10時～正午

会場:本校第一体育館

主な内容:生徒募集要項及び出願手続き説明

お問い合わせ
熊本県立宇土中学校
TEL:0964-22-0043

※たくさんの参加を
お待ちしております。

